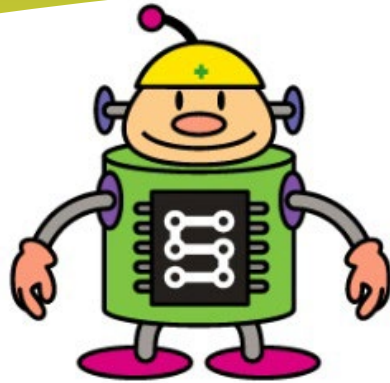


はんぞう通信

9th, Sep, 2024



- 「第6回ティーチバック大会」報告
- 「第14回スキルアップセミナー」ご案内
- おじトレから一言

はんぞう通信 Vol.51 の内容

★メールマガジン発行のお知らせ

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
この度、安全教育専門委員会よりメールマガジン Vol.51 を発刊することになりました。
今回は、8月に実施された「ティーチバック大会」のご報告です。

『第6回ティーチバック大会』報告

『第14回スキルアップセミナー』

ご案内

■ 「第6回ティーチバック大会」報告

8月1日（水）SEAJ 麹町事務所において「第6回ティーチバック大会」が開催されました。当日は安全教育専門委員14名が見守る中、3名のトレーナーの方が模擬講習に挑戦してくれました。

また、安全教育専門委員からも2名が模擬講習を実演したので、聴講のみで参加されたトレーナーの方々は5つのパターンの講習を聴講できたこととなります。更に、AIを使用しての補助ツール作成例も披露されました。

テキストの内容をいかに印象的に伝えるか、この永遠の課題に対して多角的に考える良い機会になったのではないのでしょうか？



■ 「第 14 回スキルアップセミナー」 ご案内

○今年のテーマは 真空

今年のテーマは「12章 加圧および真空」から「真空」に特化した形で行います。檜山工業株式会社様とアルバックテクノ株式会社様から講師をお招きして、基礎的な話から説明してもらう予定です。

また、午前の部では「A2章 作業リーダー教育」に新たに加わった“指示の実習”に関する説明が行われます。

○日時・会場・応募方法

・日時

2024年10月25日（金）

午前の部（自由参加） 10:00～

「A2章 作業リーダー教育」より「指示の実習」説明

午後の部 13:00～

「12章 加圧および真空」

・場所

東京グリーンパレス (<https://www.tokyogp.com>)

・応募方法

追って SEAJ 事務局より各トレーナー宛てにご案内が届きます。

定員に達し次第募集は予告なく締め切らせていただきます。

会費 5,500 円（但し、一年以内にトレーナー養成講座を受講された方は無料になります）



■ おじトレから一言

ペンネーム サーファー

段取り 8分

1. 講習資料の作りこみ

皆さんは、講習前、講習資料にどれぐらい時間をかけられていますか？
私はPPT 1ページに1時間かけます。

それはなぜか？

2. [めんどくさい]+[忘れる]=人

講習にはテキストがあります。テキストを読めば災害は防げるのでしょうか？

そうならば、ものすごく楽です。講師は、受講者がそろっているか確認し、「皆さん、テキスト読んでください。」「読みましたか？」「では講習を終了します。」で、講習は終了できるからです。これで災害が防げるなら・・・安全講習に限らず、全ての講習において単にテキストを読んで、テキスト通りのことが頭に入り順守されるならば、こんな楽なことはありません。

皆さんの学生時代、テキストを読んで、その内容が100%脳に記憶として入っていたでしょうか？

私は、学生の時の経験でテキストを読んで10%も入りませんでした。

テキストを読んでも、頭に入らず、テキストに書いてある事故例を忘れ、テキストの記載通りの事故を起こしてしまう、それが人間なのです。

3. 講師の必要性和存在概念

このように、めんどくさがりで忘れるという特性を持つ人に事故を発生させないためにはどうするか？

ここで[講師たるもの]という存在概念が出てきて、その講師スキルが問われます。我々講師は、日々、自分で専門知識を養い、受講者に自分で養った知識やスキルを情熱とともに、インパクトを持って受講者に伝えることで、学習すべき内容を、改めて受講者に認識させるのです。

講師は受講者のレベルに合わせて講習内容をアレンジし、受講者の理解を深めるための教育と、安全指導を講習中に行います。

テキストは情熱的な指導までしてくれません。情熱的な指導は講師が行

うのです。

4. 工夫された講習内容がもたらすもの

講師は、講習経験一つ一つが、講師としての講習スキルをさらに高めていきます。

併せて、今後受講者に上手に教えるための講習内容を更に工夫・検討します。

このようなスタンスで講習を続けることで、受講者が、講習に期待を膨らまして参加できるような講習になります。

講師は、受講者の期待に沿うインパクトのある講習をするにはどうしたらよいか更に考えます。インパクトがある講習は、受講者の脳に強い記憶を植え付けることができます。

その結果、受講者は現場作業中に、ふと

[たとえば、あの講師、こういう scene でこんな事故に至る、って言うってたな。ここは、一つ、自分が災害に遭わないため、めんどくさいが手順書通り、無難にやっておこう。]

と思い、手順書に準拠して作業した結果、無事故で一日終わったならば、講師は講習に力を入れた価値が出てきます。

会社は無災害が維持でき、受講者は無事健康で帰宅することとなります。

5. ということで・・・トレーナースキルアップセミナーに参加ください。

講師は受講者のモチベーションを高めるために、講習資料には時間をかけてインパクトのある講習資料をつくらなければ講師としての存在の意味がありません。

皆さん、自社の社員が事故に合わないため、テキストに何を追加しなければならないのか、考えてください。

テキストは、基本となる骨子がたくさん書かれています。

そこに、社員がうまい！ と唸る、肉付けを行うのがあなたです。

どんな肉付けをしたら良いかわからない時、ぜひトレーナースキルアップセミナーに参加してください。

肉付けのヒントがたくさん得られます。



以上

発行責任者

SEAJ Semiconductor Equipment Association of Japan

一般社団法人日本半導体製造装置協会
安全教育専門委員会

お問い合わせ先

TEL03-3261-8261 FAX03-3261-8263

E-mail anzen@seaj.or.jp 担当者 栗原